

令和6年9月13日

部 課 長 各 位

磐田市長 草地 博昭

令和7年度当初予算編成方針

「安心できるまち・人が集まる磐田市」

令和7年度当初予算を編成するに当たり、基本目標を「安心できるまち、人が集まる磐田市」とし、市民が幸せ（ウェルビーイング）と誇り（シビックプライド）を実感できる、将来に希望が持てる持続可能（サステイナブル）なまちを目指していきます。

目標を達成するため、市の最上位計画である総合計画後期基本計画で設定した「5つの安心プロジェクト」にある、「子どもたちの安心」、「暮らしと健康の安心」、「まちづくりと防災への安心」、「未来と仕事の安心」、「安心できる市役所づくり」を政策推進の柱とした上で、共創をテーマに「4つの重点戦略」を設定しました。

4つの重点戦略

- 地域経済活性化の共創
- 子育て・学びの環境の共創
- 緑とにぎわいの共創
- 共創で盛り上げる市制20周年

目標達成のためには、ここに掲げた重点戦略をはじめ、あらゆる取組において、行政だけでなく、市民、企業・団体など、多様な立場の人が対話し、関わり合いながら進めていく「共創」が重要です。また、行政内部でも組織を超えた「共創」が促進されるよう、連携して取り組んでいただきたいと思います。

さらに、令和7年度は市制20周年という節目の年です。記念の年を市民と共に創り、盛り上げ、一体感や地域への関心・愛着の醸成を図るとともに、各部署で目指すべき未来の磐田市をイメージし、未来像から遡って今やるべきことを導き出す「バックキャスト」の手法を用いて、編成作業にあってください。

併せて、積極的な取組を進めるためには、明確なターゲット、数値目標を設定した上で、財源の確保と効果的な資源配分を行うことが不可欠です。加えて、財源や人的資源には限りがあり、事業の見直しや整理、優先順位の設定が求められます。

各部課長においては、経営感覚を大いに発揮してくれることを期待します。